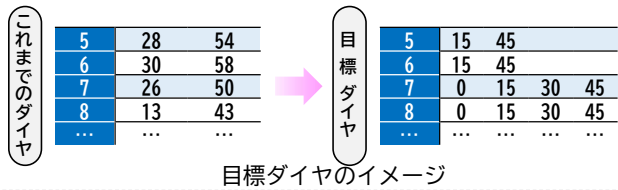


# 1. 主な利便性向上施策（案）

## A. 高頻度運行

【目的】沿線地域の活性化  
・富山港線を目標に大幅に増強



## B. 新駅の設定・駅施設の改良

【目的】駅勢圏の拡大・定住人口増加  
・新駅の設定  
・既存駅の改修及びアクセス改善  
・行違い施設の整備  
・駅のバリアフリー化  
・トイレ設置 等



例：栄町駅



例：新富山口駅トイレ

## C. 南富山駅結節機能の強化

【目的】乗換時間短縮・  
まちの拠点化  
・上滝線⇒市内電車の  
乗換専用ホーム、大屋根整備  
・駅舎の改築 等



例：広電・宮島口駅



## D. 新たな技術の導入

【目的】DX化・GX化  
・キャッシュレス支払方法の拡充  
・新システムを利用した新運賃施策 等



例：JR四国・スマえき  
（独自QR決済システム）

## E. 車両の更新

【目的】イメージの刷新・快適性の向上・GX化  
・施策Aの目標ダイヤに対応し、話題性のある車両を導入



例：静岡鉄道A3000系



例：一畑電車デハ8000系

## F. 既存設備の改良

【目的】安全性・快適性向上  
・線路設備、電路設備等の整備更新 等  
※既存の安全対策事業からの振替え



重軌条化

# 2. 概算事業費

○利便性向上に係る費用（10年間合計）

※最大想定

項目	事業費 [億円]
A. 高頻度運行 (増便経費)	15
小 計	15
B. 新駅の設定・駅施設の改良 (新駅設置・既存駅改修・行違い施設整備・測量等)	53
C. 南富山駅結節機能の強化 (乗換専用ホーム・大屋根整備・駅舎改築等)	18
D. 新たな技術の導入 (キャッシュレス支払方法の拡充等)	8
E. 車両の更新 (車両製造費・設計費等)	61
F. 既存設備の改良（：安全対策事業） (線路設備・電路設備の更新等)	59
小 計	198
合 計	213

※各項目の数値は四捨五入しているため、合計が内訳の和と一致しない場合がある。

○鉄道施設等の維持管理に係る費用（10年間合計）※みなし上下分離方式を想定

不二越上滝線（稲荷町～岩峯寺）：15.7km

※最大想定

項目	事業費 [億円]
線路保存費 (人件費・修繕費)	8
電路保存費 (人件費・修繕費)	1
車両保存費 (人件費・修繕費)	3
諸税・減価償却費	2
合 計	14

※出典：令和6年度 鉄道事業営業費内訳【不二越上滝線】より富山市が試算